住生活基本計画（全国計画）の見直しの概念図

参考資料2

人口・世帯数の減少、少子高齢化等、我が国の社会経済情勢が変化し、国民の居住ニーズが多様化していく中で、国民が真に豊かさを実感できる社会を形成するために、**豊かで持続可能な住生活を実現**する。

社会経済情勢の変化

- 人口減少
- 世帯数減少
- 少子高齢化
- 家族形態の多様化
- 価値観の多様化
- 女性の社会進出
- 外国人居住者の増加
- 災害の切迫
- 環境・エネルギー制約
- ICTの進展
- 都市構造の変化
- 地方の衰退

人の住まい方

住む場所に関するニーズ

職住近接、同居・近居、都心居住・郊外居住・田舎暮らし、二地域居住　等

住宅の種別に関するニーズ

持家－借家、戸建－ﾏﾝｼｮﾝ　等

家族形態の多様化に応じたニーズ

nLDK－一室空間、一家族一住宅－ｺﾚｸﾃｨﾌﾞﾊｳｽ・ｼｪｱﾊｳｽ等、居住面積のあり方　等

ﾗｲﾌｽﾀｲﾙ・ﾗｲﾌｽﾃｰｼﾞに応じたニーズ

若者の自己実現
子育て層の希望に応じた家庭づくり
高齢者等の安心・健康な暮らし　等

実現するために

住まいのあり方

目標1　良質な住宅ｽﾄｯｸの形成及び将来世代への継承

- 住宅ストックのマネジメントシステムの確立
  - 適切な維持管理、ﾘﾌｫｰﾑ・ﾘﾉﾍﾞｰｼｮﾝによる質の向上、既存住宅ｽﾄｯｸの活用促進、不良な住宅の除却の促進、良質な住宅の供給

目標2　ﾗｲﾌｽﾀｲﾙやﾗｲﾌｽﾃｰｼﾞに応じた多様な居住ニーズの実現

- 多様な居住ニーズに応じた住宅の選択肢の提供
  - 既存住宅ｽﾄｯｸの活用促進［再掲］、賃貸住宅市場の確立　等
- 住生活関連サービスの充実

目標3　住宅の確保に特に配慮を要する者の居住の安定の確保

- 社会的弱者の居住の安定の確保

実現するために

居住環境のあり方

目標4　良好な居住環境の形成による地域の価値の向上と豊かなコミュニティの形成

- まちづくりと住まいづくりの連携による地域の価値の向上
- 豊かなコミュニティの形成